



この度は楽しく熱中できる奨学生交流会に参加させていただき有難うございました。去年のオンラインでの交流会にも参加させていただき、普段あまり体験しないような新鮮な体験をさせていただきました。

去年はチーム戦でメンバー固定のまま、クイズに取り組んでいく形式で、たくさんの奨学生の方と一緒に活動できなかったのですが、今年の交流会は一つのクイズ毎にメンバーが変わっていき、去年より多くの奨学生の方と交流できました。また、難しいクイズを即席のメンバーで時間内に解いていく体験をあまりしたことがなく、最初は戸惑いましたが、最後には答えを出す惜しいところまでたどり着くことができました。この交流会を通して達成感やチームメンバーとの一体感を感じ、二度とない体験ができたため、初めて会う人と一緒にものを作る機会があれば、この経験を活かしていきたいと思います。



藤井国際奨学財団 2021 年度奨学生オンライン交流会において、オンライン開催の特質を生かした楽しいイベントを企画し、思い出に残る交流会開催にご尽力頂き、感謝申し上げます。関西だけでなく、色々な地域から集まった多種多様な学部、学年の留学生を含む学生が交流できる貴重な機会となりました。

自己紹介、しりとり、クイズ大会と趣向を凝らした内容と盛り上がる妙技の司会進行のおかげで、奨学生の緊張がほぐれ、笑顔あふれる交流会で、奨学生同士の交流が深まりました。私は謎解きがさっぱりわかりませんでした、メンバーに恵まれ、全問正解することができ、その他のクイズでも正解を重ね、思いの外、成績優秀者の一人として商品を

頂くことができました。イチゴのショートケーキには騙されましたが…。当初は大学院入学試験日と重なり、不参加の予定でしたが、大学院入学も決まり、賞品も獲得できて、ハッピーが続いています。有難うございました。

発行日：2022年2月

発行：公益財団法人 藤井国際奨学財団

住所：〒567-0034 大阪府茨木市中穂積 3-12-2 ☎：072-621-7601

※当広報誌の文章・画像等の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。



アジア発展の架け橋となれ！日本で学ぶ金の卵たちへ

公益財団法人 藤井国際奨学財団

かけはし

Vol.13

2021 年度 奨学生交流会

第2回 オンライン交流会



2021
No.27

第2回 オンライン奨学生交流会 開催

2021年度の藤井国際奨学財団「奨学生交流会」が11月27日に開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回もオンラインでの開催となりましたが、国内学生より20名、留学生11名、合わせて31名の奨学生と藤井理事長、理事の竹谷先生、選考委員の瀬口先生、久保先生、山本先生にご出席いただきました。

前年に引き続き、財団からは若手の担当者達が交流会プログラムの企画、司会進行を務めました。



▲参加者 36名の映る大型モニター

自己紹介を兼ねた懇親昼食会のあと、肩慣らしに家の中にあるもので「物しりとり」を行いました。「こうりゅうかい」の「い」から始まり、ヒントをもらったりしながら、楽しく部屋の中のものを探しました。

その後、「豪華賞品」をかけていよいよ本番です。それぞれのゲームで個人にポイントが付加されます。



接写ゲーム

始めは「接写ゲーム」です。あるものを拡大した部分の写し込みから少しずつ全体写真に移り変わっていきます。わかった時点でチャットで答えを入力。イチゴの種からショートケーキ、スープに浸かった麺から餃子定食などひっかけ問題もありました。



▲イチゴの拡大写真?

答えは
イチゴのショートケーキ!▶

次はチームに分かれて答えを出してもらう「謎解きゲーム」。
制限時間 10 分以内にみんなで意見を出し合って答えを導いてもらいます。ほとんどのチームが正解の答えを出すことができました。

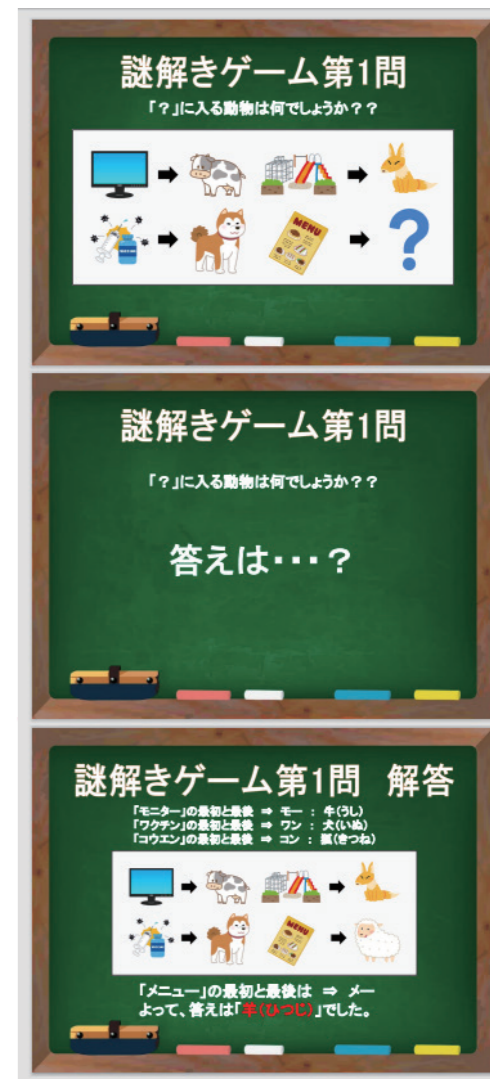
決算ゲーム

最難関の「決算ゲーム」では個人に与えられた情報を話し合いによってどれが必要であるのか絞り込み、数字を出すのに皆さんは真顔で取り組まれておりました。残念ながら正解を出せたチームはなかったのですが、グループワークの大切さや刺激を感じた方が多かったようです。



▲難問に真剣に取り組むチームメンバーたち

謎解きゲーム



- 一つの事業所が大きな水害の影響を受けたため、その事業所のみ売上目標を500万円以下に下方修正した
- G事業所の男性社員は27名である
- 全事業所の社員数は785名である

決算ゲーム(チーム分け)					
Aチーム	Bチーム		Cチーム		
山本 悠希	丸山 康	丸山 康	谷 昌紀	谷 昌紀	谷 昌紀
阿部 航大	アベ 航大	阿部 航大	野田 彩花	野田 彩花	野田 彩花
山口 雄紀	山口 雄紀	山口 雄紀	藤川 幸宏	藤川 幸宏	藤川 幸宏
牧野 大輔	カウチ 大輔	カウチ 大輔	オムツ 大輔	オムツ 大輔	オムツ 大輔
林 菜夏	ハヤシ 菜夏	林 菜夏	李 漢	李 漢	李 漢
王 静怡	ワウ 静怡	王 静怡	瀬口先生	瀬口先生	瀬口先生
Dチーム		Eチーム		Fチーム	
橋山 史秀	ハシヤマ 史秀	高田 晴菜	タカダ 晴菜	樋口 恵美	ヒグチ 恵美
坂谷 祐希乃	サカヤ 祐希乃	郭 真華	カク マチカ	松本 和人	マツモト 和人
許 嘉華	キョウ 嘉華	菅原 夏希	スガハラ 夏希	橋本 敬也	ハシモト 敬也
宮下 穂光	ミヤジマ 穂光	奥田 彩花	オクダ 彩花	趙 月輝	チウ 月輝
吉谷 理緒	ヨシタニ 理緒	タニシロ 理緒	タニシロ 理緒	市井 千聖	イチイ 千聖
赤 貴	アカ 貴	久保先生	久保先生	藤井理事長	藤井理事長

▲6チームに分かれての【決算ゲーム】



▲選考委員の先生方も奨学生チームに混じって

じゃんけん勝ち抜きゲーム

最後はじゃんけん勝ち抜きゲームを行い、「豪華賞品」を手にした運の強い方もおられました。賞品獲得の喜びを寄稿していただきましたので紙面でご紹介いたします。



▲藤井理事長に勝てば、1等賞の「ブランド和牛食べ比べ」獲得



◀竹谷理事もジャンケン参戦



参加者 COMMENT

私は良い研究結果は様々な研究者達の考えとアイデアが集まることで達成されると思います。チームによるゲームをする時間では各分野の参加者が共通の問題をどのように考えるのかを勉強できて嬉しかったです。

クイズでは各国で動物の鳴き声の擬音が違うことについての議論が非常に面白かったです。留学生が多い財団ならではの知見が得られて非常に有意義な時間となりました。

特に印象に残っているのは決算ゲームです。一人一人に断片的に与えられた情報を繋ぎ合わせてチームで一つの結果を導き出すゲームですが、バラバラの情報を短い時間で纏めることがこんなにも困難なことであるとは知りませんでした。ただし、困難であるからこそその楽しみもありチーム内での会話も弾みました。

よく学び、よく遊べ

Work while you work, play while you play.

令和4年 → 飛躍の年

2022

Year of leap



◀竹谷先生より頂戴したお言葉

2年続けてのオンライン交流会となってしまいましたが、意見を出し合う場を増やすことで充実した時間となりました。自己紹介の時間でそれぞれが研究している内容を聞き、「直接会って話したい!」と思われた方も多かったことでしょう。

理事の竹谷先生が「交流会」の終わりのご挨拶で仰られたように皆様にとって2022年が「飛躍の年」でありますよう、関係者一同願っております。



▲明るく場を盛り上げる司会進行役

この度の交流会に参加させていただき誠に有難うございました。コロナで国に帰れない等、様々な不便がある中で最近では修士論文の最終段階で、気持ちがイライラして、ストレスも抱えていた私は、皆さんとの対面での交流会を楽しみにしていました。

残念ながら遠隔での参加でしたが、沢山の楽しみをもらって気が楽になりました。特に景品をもらえると思っておらず、楽観的な性格が私に幸運をもたらしたのかもしれない。

また、藤井国際奨学財団の支援に心より感謝申し上げます。提供していただいた交流会で、皆さんにはそれぞれ長所や個性があること、逆に自分には不足点が多いと認識しました。この経験を通して、自分の成長にも結びつきました。これからも人生において、自分を励ましてもっと自信を持ち、しっかりと歩いていきたいと思えます。



この度は多くの人と交流できる素敵な機会を提供してください誠に有難うございました。当イベントは本来、対面形式で行われる予定でしたが、感染症対策の観点からオンラインでの開催となりました。

皆様方と直接お会いできなかったのは残念でしたが、今回のイベントは対面形式に劣らない非常に充実した時間を感じました。メンバーが入れ替わるチーム戦というシステムは出身地や出身国の垣根を越えた交流のきっかけとなりました。

レクリエーションの内容も非常に楽しいもので、そのうえ素敵な景品まで頂くことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。このイベントに参加された奨学生の皆様をはじめ、運営に関わられたスタッフさま、藤井国際奨学財団の方々、改めて有難うございました。またお会いできる日を楽しみにしています。



私は今回が初めての交流会でしたので、慣れない部分もあり緊張していましたが、とても楽しむことができました。特に印象に残っているのは最後に行った「決算ゲーム」です。

チームの全員で決算の値を求めるのに必要な情報を出し合って整理していくのはとても楽しかったです。僕自身が最後の計算のまとめをすることを名乗り出たのですが計算の途中で桁を一つ間違えてしまって、残り時間が少ないのもあって計算をやり直すことができず正解することができませんでした。

あと一步のところまで正解できなかったのでもっと悔しかったです。次回はリベンジしたいです。楽しい交流会を有難うございました。



今回は2回目の参加です。去年は少し緊張していましたが、今回はとてもリラックスして参加することができました。財団の方々がたくさんゲームと素晴らしい賞品を用意してくださいました。クイズを解くとき、多くの優秀な仲間に出会いました。仲間たちのおかげで、うちのチームは順調にクイズを解くことができました。また、交流会の最後に、意外なことに、ハーゲンダッツの賞品もいただきました。財団の方々や奨学生の皆様に感謝いたします。

この2年間、財団のご支援のおかげで研究活動に全力を注ぐことができました。今後もいただいたご支援を忘れずにより一層の努力をし、日中友好に貢献できるように励んでまいります。

この度、藤井国際奨学財団の奨学生として交流会に参加させていただき誠に有難うございます。私は初めて参加するので最初は緊張しました。でも財団の方も奨学生の方もすごく親切で、皆さんの自己紹介を聞いているとだんだん緊張がほぐれてきました。

皆さんの自己紹介を聞いて、交流会に参加された皆さんはとても面白い方だと感じられました。謎解きゲームも楽しかったです。賞品が豪華なので、皆さん一生懸命にクイズを解きました。

私は最後まであまり点数が伸びなくて、賞品はもらえないかなと思いましたが、まさか最終回にジャンケンで理事長に勝ちました。理事長のおかげで牛肉が美味しく食べられました。

交流会は3、4時間という短い時間でしたが、いい思い出として心の中に残っています。来年はオフラインでお会いできることを楽しみにしています。



今回の交流会を通し、藤井国際奨学財団様にご支援いただいている同じ奨学生の方々と交流するなかで、様々な価値観に触れることができたことは、大変有意義な経験でした。

非常に優秀な方が多く、海外からの留学生の方々と交流できたことも普段あまり経験できることではないので、非常に刺激的なイベントになりました。

クイズ大会では賞品もいただきましたが、非常に実用的な賞品であり、すでに愛用させていただくほど気に入っております。そういった面でも楽しい交流会でした。有難うございました。

